夕刊
三月十日發行
定價（一ヶ月金五拾錢）
廣告料金（普通欄一行金六拾錢　特別欄一行金九拾錢）
發行所　磐城新聞合資會社
印刷所　磐城新聞合資會社印刷部
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替第一〇八五五番

天氣豫報

小名濱測候所發表

今晩は北の風雪
明日は北西の風曇
後時々晴

隨筆　身邊のこと（五）

島田忠夫

序でだから言ふが、必要る雜誌である。月刊の個人雜誌であるから、大きくする必要もないのであるが、もなき樣なものの、他人の名前には敬稱をつけるのが本當である。親しい同志とか歌壇的に高木氏が大先輩でもあればとにかく……さういふことで、地方末葉流の偉振り方は、もう流行らない。末筆ながら、お子さんが亡くなつたやうだが御氣の毒である。讀んで哀悼申上げる。

×

消息のところに、白木氏もが、福島縣歌人協會の結動いたことが見えてゐる。白木氏も進んで地方的に確固とした團體を築かれるやう御盡力ねがひ度い

×

小山田氏の文章がよく、志賀氏の隨筆がよい。表紙も大へんいゝ。どうか『時愛』が、このまま大きくなるやう希つてやまない。そしてコセ〳〵した地方的なことに血の道を上げず、すぐれた作者を澤山出して欲しい。同人諸氏におねがひするどころ。

『田園』に就いて

この紙上で、申上げるのは恐縮であるが、こん又と私の個人誌『田園』を復刊しようと思ひ出して、この女のバーに入つたのだつた『やつぱり飛んな話は女給に限ぎる』

た方もあらうが宅に片々たる雜誌であるから、大きくする必要もないのであるが、

冷酷

田卷潤

深夜
ひとり見る
鏡の中に
怖ろしき顏
頭
壁にうちつけ
疲れた身體に
しん〳〵と
寒氣のせまる
火　ひとつなき部屋に
ヒヨー〳〵と
吹雪の音　きいて
オイ〳〵と
聲にて泣けば
遠　顏らが
嘲笑ふ

とにかく毎月出してゆけるのはありがたい。

×

昨年から、大日本歌人協會の仕事をして月々手當をもらつてゐるので、それの一部を宛てゐるのと、某氏（元海軍少將、現在軍需工場顧問）から月々一定額の恵與をうけてゐる。それで、方々へ配布してゐるわけです。

×

若し、毎號御購讀御希望の方は送料だけお送りねがひたい。さうすれば、どなたにもお送り申上げる。私も忙しいからだで、編輯は原田小太郎君に一任してあつた。それがこんど、原田君は滿洲へ赴任することになつて、これから一寸とまるが、四月には私の所へ山妻が來ることになつてゐるから、續けて出して行けると思ふよ。

初戀のラスト

三森三郎

（三）

僕の耳元に口を寄せてお話の續きをしませうと囁いた

僕はこのバーに入つたのは或る雜誌社の初戀のラストと云ふコントの募集があつたので書いて見ようと思ひ出してこの女のバーに入つたのだつた『やつぱり飛んな話は女給に限ぎる根外すゝすら話してくれたのでつまらぬ初戀の終局でお前のも見せてくれ』

と言つて莊岡は煙草の煙を眞すぐによけて語り出した

女は餅菓子屋の看板娘であるが、この店へこんな男が毎日通つてゐた中學生や職工である、この娘は二人共非常に好きであつた、悩める時中學生に戀を打開けられた、すると又職工にも迫られたのである。

◇……◇

『馬鹿な、そんなことが』

さうとは云つたものの刑事かも知れないので、

『それは、あの子を虐めると云ふ、恐い叔父さんでせうか』

まだ年端のゆかぬ、小さい小僧が訊いた。

『さうだらう、可愛相に、とに角、俺は空家を見て來やう』

『旦那、あの油屋ですか』

番頭も、同じやうに氣味惡さうに訊く

『さうだ、お前も一緒に行つて見るか』

『とつほつほゝゝ、た澤山で』

刑部は、訝かしく小首を捻つて、その手紙を受取つた。

打返して見たが、その筆蹟に覺えがない。取敢ずお封を開いて見ると

貴殿が我等一味にも替へ難き多金を暫時御融通の手に預かり申候

貴殿の平念如何に依つては、御破算ながら不悶なる結果に相成申場す合も有之可、偏と御含みの上、左の條々是非共御承知相成度候

一、今宵の亥刻、湯島天神境内に集合のこと

一、然る上我等一味を、共非常に好きであつた、悩める時中學生に戀を打開けられた、すると又職工にも迫られたのである。

◇……◇

刑部殿

講談

悲歌　どくろぐみ
髑髏組

林　李兵衛作
（135）金子　士郎畫
離　合　（二）

『俺れの話さうかそしたらと言つて莊岡は煙草の煙を眞すぐによけて語り出した

『さうか、今俺は、油屋の空家を見て來やうと思つてゐた處だ。あすこになければ、殊に依ると昨日から歸らないので、親類の者が探しに來て、連れ戻つたのかも知れない』

『それは、あの子を虐めると云ふ、恐い叔父さんでせうか』

まだ年端のゆかぬ、小さい小僧が訊いた。

『さうだらう、可愛相に、とに角、俺は空家を見て來やう』

『旦那、あの油屋ですか』

番頭も、同じやうに氣味惡さうに訊く

『さうだ、お前も一緒に行つて見るか』

『とつほつほゝゝ、た澤山で』

御座います、私はもう、夜なら一人でもおすこの前もよつて通りません』

『はつはゝゝ大の男が意氣地のない』

冗談のやうに笑ひながら刑部が店を出た。

とその出逢頭に、見知らぬ一人の男が近づいて

『宇治政のだんなで御座んすね』

と。上目使ひに顏を見た

『なんだ』

『あつしやつい此の先でだんなの知つてゐる方からお手紙を傳言つて參りやしたが、御返辭はいらねえそうで——』

『俺の知つてゐるては、誰だらう』

讀み終つた刑部の、唇をも委も見當らぬ。

刑部は、その去就に勘ついて出る深い吐息。

一度目星をつけて睨んだらず迷つた。が、結局不悶ら、口が裂けても存まなければものかぬ。蛇のやうな執念を持つ樋十郎。またして老猾な手段で刑部を罠に引つかけたのだ。

今となつては如何に地團駄踏んで見たところが及ばない。

手紙を持つて來た男はと見れば、もう其處等に、影の者は不安氣に迎へた。

可愛ラシイお子樣ノ新御入學方ハ何卒弊店へ御用命ヲ願ヒマス

◇近ヅキマシタ◇

學生帽子　學生靴

ランドセル　1.30 …… 5.80
手提鞄　98 …… 3.80

男用學帽子帽女豊富陳列

ヤマツル

電一四〇

固定給で生活保障

一、外交員を迎ふ

男女、經驗の有無に拘らず
年齢二十五才以上の善良家を求む
固定給の外歩合を給す
（お希望者履歴書送附あれ、面會日通知す）

野村生命保險株式會社
平出張所　結城勝美
平市鷹匠町一番地

眼鏡

メガネは正確にして廉價
最新式各國製レンズ

根本眼鏡店

平市二丁目　電話六七〇

お醬油は……ヤマフル

鹽屋
味噌醬油
たひら正宗
經節食料品

山崎合名會社

磐城島縣平市
電話（營業部一〇番　本店二七番）

明治生命磐城代理店　山崎與三郎

平市二丁目

あまと自動車商會

電話六四〇番

給仕募集

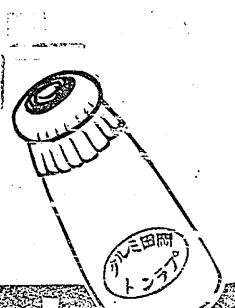
御當人の方は委細面談
營業所　水戸市泉町二丁目　電話二四〇一・六〇番
助川町天王町　電話六九番
大子町榮町　電話二九番

公債、株式、賣買
一般證券業務
平市三町目　電話一七七番

太津森證券店

斷然一賣行よし
信用と品質と共に備つて

平市鎌田町　電話五一番



低溫殺菌

四田牛乳

外科、內臟外科、整形外科、產婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚泌尿器科、新設
院長　安齋徹
醫學士　黑澤
平市田町
入院隨意　**安齋醫院**
電話四七五番

平みやげ　米やの最中

最中の御進物は、最中專門へ御用命不さい。各種取揃へて御客樣を御待ち致して居ります。

平市五丁目
米屋最中專門店
電話（呼）二九〇番

ソセキナンヨー散　南洋蘇製社平代理店

皇軍慰問袋に……

鄉土色滿點の

「潮の華」

を慰問品に限り勉強致します。

電話六六八

平五　**泉屋菓子舖**

中古各種レール鐵管
礦山用機械器具類
製鐵原料問屋

十二封度レール、トロ車輪付屬附
鐵工工具品　新品着荷致しました
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
銅鐵機械　KS
井尻七三郎商店
福島縣平市鍛冶町十一
電話五二二番
荷受場　平市鍛冶町廿三番地
倉庫　平市鍛冶町九番地

御買上品精々御安く納品致します
御拂下品は精々御高値に買受ます

近眼老眼亂視眼用

メガネ澤山取揃つて御座居ます。
是非一度御來店下さい
各眼科處方調製

正確と勉強の店

玉屋眼鏡店

平市二丁目

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の

一段せる勉強振りを、せひ一度お試を乞ふ

万織田材木商店へ
福島縣平市
電話平四六〇番

營業銘木、ベニヤ板、種秋田產杉四分板
目建具材・倶利瓦

耳鼻咽喉科專門
レントゲン科

高柳醫院

醫學博士　高柳博明
平驛前（電三三六）

看護婦募集

用紙の請求が多い
全国的に志望者増か
市内中等校願書受理現況

受験兒童が夜を日に繼いでの血みどろな悪戰苦闘裡に最後の試練は一日一日と迫つて來る。猫へ齧い魚躁千安も、今日となつては餘、効果的に埒あかず、先づ準備は一段落と云つた形ちである。志願者の數！地獄卒は之を基本として定められるるのであるが目下の處では市内各校其他大量の願書提出が無いので一寸豫測し兼ねるとの事であるが磐女に對する願書用紙の請求數が從來に無く七百枚を突破した事實に徴し志望者は定員に倍數の五百名に達するではないかと觀られるなど全面的に若干の增加を豫想されてゐる。本日現在の願書受理數は大体次の通り

磐（三十三通）勿來、渡一日歸京
中邊、澤波等の各校。

新しき土を共に
現地訓練三ケ年
義勇軍希望者よ來れ

進取の氣象に富む優秀な青少年を目標に目下募集してゐる滿蒙開拓青少年義勇軍本隊員は別に採用人員に制限なく今月下旬試驗の上合格者を決定、前回同樣來月上旬茨城縣東茨城郡中妻村の日本國民高等學校内原農場に入所ここで約二箇月間の訓練を經て愈よ渡滿の上約三年間左の方針により現地訓練を受けるが費用は出發の際に携帶品を要する外其後獨立の農家となる迄數年間の經費は別に仕送りが要らない

（イ）現地訓練所に於ては寄宿舍に起居せしめ、武道、教練、學科、實習を通して心身を練磨す

（ロ）訓練所には所長以下多數の指導員ありて指導訓育に當る外專屬醫師を配して醫療、保健に當らしむ

（ハ）訓練所の課程を終了せしものは特に手持資金を要せずして獨立農業者たらしむべく國家は之を助成す

（ニ）徴兵檢査は現地に於て受け現地にて入營するものとす

（訓練所は兵役に關し内地青年學校と同等の取扱ひを受くる豫定）

愛林思想
普及ポスターで宣傳

平署管内林野保護組合長會議を昨九日同署に開き、八笈磐長から

愛林思想普及、林野火災警防、山林巡視勵行、林野火入、特殊森林保護の指示注意のつた、組合長總會は來る二十八日午前十時から同署會議室に開き成績優良組合員約八十名を表彰、尚標語を織込んだポスターを管内林野の枝に吊して『樹木を愛しませう』の思想普及に努める

磐（三十六通）郡下山村
女方面、茨城縣多賀郡
平（二十七通）郡下では
商勿來、茨城縣平窩、
浪江、原町等の双相方面、
東京、川崎、靜岡、奉天等
の遠くからも出て居る、之
等は何れも父兄の在籍關係
からしい

横山東京磐城局長
初巡視に來平

新任東京管林局長横山敬敏氏は管内初巡視のため昨九日來平、今七日は齋藤平營林署長の案内で同署管内を視察、湯本町に一泊の上昨八日歸京

春の雪に彩られて
戰時下陸軍記念日

奉天大會戰後茲に三十三年

各地て非常時意識昂揚

平服部校長の訓話、遙商拜後、折からの雪を衝いて各學年毎に行軍、内郷、好間の隣接村等を廻つて若人の意氣を示した

磐中。午前十一時半から中村配屬將校の訓話ある筈であつたが鄉合で明日に延期

外三校共正午を期して一分間默禱大會戰を想起し

磐女。正木校長訓話

鹿島では武術大會

鹿島村青年團では國民精神總動員强調週間に際して全部落團員の國服を統制、今七日の陸軍記念日を下して午前八時團員一同同村忠魂碑前に集合、國防後援會長各種團体長の點檢及訓示を受け前團長に對する感謝狀贈呈式後けふの日を記念する左記催しに銃後青年團の士氣を皷吹した

午前十時忠魂祭典に參列參拜、午後一時武術大會同三時講習會（中野中佐）平署管内駐在巡査の出

約四萬貫をペロリ
昨年中の肉消費量

平市民は昨年中にこれ丈けの肉を平らげた——市役所調査によるその肉量は何と四萬二千四百四十七貫余で一番多くたべたのはどうしても豚公だ、その頭數と肉量別はザツと次の如くでこれをお金にすると何と九萬四千圓に上るんです（括弧内肉量）

牛一三八頭（七、〇九七貫）馬二六九頭八、三八〇貫）豚二、五五三頭（二六、九七〇貫）

藤本巡査出張。藤本平署巡査は來る二十二日廳島署村に未設置のものが甚だ多く、種々の紛糾が絶わ間なく有様なので至急設置する様此程各町村宛に督勵の通牒を發した、同委員會の職能についても戰病死者の遺家族のみならず、家族が各種の恩典を受けんとして當然入籍を行ふべきにも拘らず周圍の反對から紛爭を起すことがあるので、斯くの如き事態に直面して最も速發功

電話
讓り受け度し

姓名在社

過去四千年の史實と彼等の國民性を思ふ
市内上平窪出身　小野藤市君（通信）

靜かに更けて居ります、勇ましくもなかつたさうです、之は四つて行く戰場の珍らしくもありませんが紙千年の昔から現代迄國家と辜にも北斗七星の輝きに二三の見聞をお云ふものが中心をなして居崖の皇象の武話致しませう。なかつた故とも云はれませ運長久を祈る

今那四千年の史實に據り、この様に國家が中心でまれば歴代の賢哲は口になかつたので國家の兵も國居ります（略）

『王道』を說いて來ました家の法も無いわけです。時毎日ペンと鐵物を積載して通る時にも巡孔孟の時代にも『仁を行ふには支那を統一した武將も警等が『通つてはいけない』ユースも珍らしい兵隊の生れる筈がなに教へて來ましたが、一日と云へば『之はお上の道だい。（終）

「先づお客さん」
花見宣傳

遺族紛糾を調停せよ
各町村で設置計劃

人を求む
一、少年工場員
一、給仕
磐城新聞社

田毎のみつ豆
白蜜と黒蜜
平市田町　電話六三二番

生徒募集
平市山城電話九三

◎中等科　中堅公民養成
◎專修科　受驗難關突破
▼無試驗入學許可

磐城佑賢學舍

◎軍事教練の實施
◎商業簿記科ノ特設
◎古敎科書半額以下ノ讓渡斡旋

生徒募集

願書受附　三月三十日迄

本科二ケ年卒業）一年百九十名
裁縫專修科（二ケ年卒業）一年百名
師範科（一ケ年卒業）二十名
專攻科（一ケ年卒業）三十名
本科裁縫專修科三年補缺入學若干名
『附設』洋裁科（六ケ月修了）若干名

詳細ハ學則請求ノコト

文部大臣認可

藤田女學校
平市田町（電三二八番）

國民精神總動員……

日本國民・必見の書……

行發部報情閣内

寫眞週報
（1部10セン）

……よりお取次致します……

西村藥局
（平2）（電3）

根本産婦人科專門醫院

平市南町五二
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
（手術室完備）
（入院隨時）

亡父神德院葬送の際は御多忙中にも不拘御會葬被下且つ御鄭重なる御香奠を賜り御厚志の段難有御禮申上候一々拜趨御禮申上筈の處乍略儀以紙上御禮申上度如斯御座候

昭和十三年三月一日

石城郡神谷村大字上中宿
嗣子　神谷市郎
男　神谷清水
親戚總代　神谷富五郎

おてん
イッペイ
一平
電話二六三番

廣告

三月十日　金曜　大安　二白
三月十一日　土曜　閉　九紫
午前十一時　午後二時　上弦

潮汐（小名濱測候所調）
滿潮　前一〇・二〇　後七・二〇
干潮　前一〇・一一〇　後七・二〇

十一日